

まちかどトーク（定塚地区）議事要旨

日時：令和8年1月15日（木）19:00～20:35

場所：定塚地域交流センター

参加者：34人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「高岡市の都市計画」について都市計画課から説明の後、質疑応答

参加者

本日の参加者は70歳代が多いが、都市計画の話は現役世代に伝えるべき。

都市計画課

こども達に、この地域で住み続けたいと考えてもらうことが重要である。人口は減少しているが、世帯数が増加している要因は、こども世代が郊外に新しく家を建てているからであり、それがまちなかの空洞化に繋がっている。まちなかで住み続けられるよう、居住支援を行っているので活用いただきたい。

市長

定塚地区で導入している多機能地域自治の取組は、過去のやり方を見直し、長く住み続けられる街づくりを目指している。まちなかに住んでもらうためには、コンパクト・アンド・ネットワークの観点で、まちなかで暮らせるような公共交通の仕組みづくりが必要と考えている。

参加者

空き家の固定資産税を引き上げ、空き地が活用されるような施策を実施してはどうか。

参加者

高岡駅前東地区の再開発は、マンション建設など当初は賑わいが生まれると期待していたが、現状では目に見える効果がない。マンション居住者を対象としたアンケートを実施し、住んで良かったと感じている方の意見を発信してはどうか。

市長

高岡駅近くにお住まいの方や駅を利用する学生が、街に繰り出すようになってほしいと思っている。

参加者

「高岡万葉まつり」の朗唱参加者が万葉衣装で街を散策するような仕掛けなど、賑わいを生む工夫をしてはどうか。

参加者

「高岡七夕まつり」は、かつての賑わいが無くなり、寂しい気がする。

市長

七夕飾りを増やすことを検討している。街が賑やかになるとは限らないが、祭りを盛り上げたいと思っている。

参加者

通院や買い物など、外出に困っている人は多い。低料金でまちなかに行ける仕組みを考えてほしい。

市長

既存の路線バスのルートが便利になるようにバス事業者と勉強会を始めた。公共交通を利用して、市内全域からまちなかにアクセスしやすい仕組みを構築したい。

参加者

駅前居住を進めるため、スーパーやドラッグストアなど生活用品を扱う店を誘致してはどうか。

参加者

マンション居住者には共働き世帯も多い。駅が近く便利な面も多いが、車で買い物に出かけており、生活に不便を感じている。

参加者

高岡駅と新高岡駅間のアクセスが悪く不便である。城端線を利用しても接続ダイヤが悪い。一駅の区間なので、シャトル運行を検討できないか。

市長

まちなかに買い物の拠点となる施設は必要であり、御旅屋セリオの地下に誘致したい思いはある。

高岡駅と新高岡駅間のアクセスについては、バスによる自動運転の可能性についても検討していきたい。

参加者

新高岡駅発の臨時便「かがやき」の運行情報を市のホームページに掲載してはどうか。

市長

臨時便「かがやき」を含めて新高岡駅を広くご利用いただけるよう、より効果的な発信方法を検討したい。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

令和8年4月から小中一貫校が開校し、平米校区のこどもたちは通学路が変わり、踏切を渡ることになるため、安全な通学路を確保してほしい。

参加者

仲人サークルの活動に市から手厚い補助があれば望ましい。

市長

婚活支援事業は高岡地区広域圏事務組合で実施しているが、市独自の取組が望ましいと考えている。

ALT（外国語指導助手）の人数を増やし、小さい時から英語教育を行うなど、教育に力を入れた地域であることを売り出していきたい。

参加者

こどもが県外の大学に進学すると、親は「戻ってこなくてもいい。県外の立派な就職先で働けば良い。」と言っている。故郷に戻ってきてもらえる街づくりが大切だと思う。

市長

郷土教育による意識付けやシビックプライドの磨き上げを実施していきたい。定住定着の促進のため、公立大学の設置についても努力していく。

参加者

通学路となっている側溝の改修工事を早急に行ってほしい。側溝の塞ぎ方が不揃いで空いたままの箇所もあり、小学生が怪我をする事例も起きている。通学路であるため優先度を高くしていただきたい。

市長

他地域からの要望もあるため、優先順位を付けて取り組みたい。

参加者

通学路等の消雪設備を維持するため、負担金を支払っている。負担金を積み立てて修繕するという計画だが、積立だけでは不十分だと思う。負担金の支払いに理解を示さない住民もいるため、市で補助していただきたい。